



2021.03

MUNICIPAL TSURUGA HOSPITAL MAGAZINE

INDEX

- 乳腺外科医師インタビュー
- きらめき医療人
- CS 部会の紹介
- 新型コロナの検査法

女性の患者さまに

大きな安心感を

現在、11人に1人の割合で罹患すると言われている「乳がん」女性にとってデリケートな部分である領域に携わる当院の乳腺外科専門医をインタビュー形式でご紹介します。

乳腺外科は専門性が高く

研究が進んでいる分野

―はじめに自己紹介をお願いします。

横井 昨年、10月より福井大学医学部附属病院から赴任しました横井繁周です。

福井大学の第一外科に所属しており、乳腺外科を中心に診療し、昨年乳癌専門医を取得しました。また、都会での乳腺診療の方法を勉強するために一時的に東京へ国内留学して、検診や手術、化学療法、治療など、福井では得られないような知識

や経験を現在の診療に還元しています。

矢尾 横井先生と同じく福井大学医学部附属病院から赴任しました矢尾祥子です。

福井大学医学部附属病院で初期研修後、横井先生と同じく福井大学の第一外科に所属し、嶺北地域の病院勤務を経て当院に勤務することとなりました。

嶺南の病院で勤務するのは初めてですが、ともに赴任いたしました横井先生をはじめ、多くの先生方やスタッフの皆様にご指導いただきながら診療にあたっております。

―先生方が乳腺外科を目指したきっかけを教えてください。

横井 医師となった当初は消化器外科診療を中心に研鑽していましたが、医師4年目に初めて乳腺診療に携わり、そこからマンモグラフィ読影資格、乳腺超音波読影資格を勉強、取得するようになりました。レントゲン写真一つをとっても試験、

精度管理があるという点で、専門性が高い分野であると感じたのがきっかけです。それから乳腺診療に携わる度に専門性の高さを知り、研究が他分野と比較しても進んでいることに魅力を感じて、乳腺外科を専



(左)：外科医長 横井 繁周(よこい しげひろ)

(右)：外科医師 矢尾 祥子(やお しょうこ)

乳腺専門医を取得されている横井先生は、福井県内でも希少な乳腺のスペシャリスト。女性医師の矢尾先生との2人体制の診療は、女性にとってデリケートな部分の領域だからこそ患者さまが安心して受診することを考慮した体制です。

門としました。

矢尾 初期研修医の頃に横井先生の乳腺手術、患者さんへの関わり方を拝見したことが大きなきっかけです。また手術ができること、女性であることが活かされる診療科であることも大きな魅力でした。

―乳がんとは、どのような病気なのか教えてください。

横井 乳癌は歴史上最も古く認知されたがんと言われており、皮膚に表出しやすく、頻度も多いため、治療に対する研究が進んだ疾患と言われます。治療方法も多岐にわたります。ここ数年でも治療方法がどんど



ん細分化されてきています。乳癌専門医として、多数の治療法の中から、現在で一番効果のある治療法を選択し、提供したいと思います。

矢尾 乳がんは現在、11人に1人の割合と言われており、女性の罹患するがんの中で第一位となっております。治療も以前に比べればかなり進歩していて、長期生存も可能となっております。さらに、検診や自己触診で早期発見できれば、がんでの苦しみはより少なくなります。

―これまでの市立敦賀病院の印象はいかがですか。

横井 コメディカルが親切で丁寧に診療に携わってくれ、非常に診療もやりやすいと思います。私たちが来て、大幅に変更した部分も多々あり、その調整に大変な思いをさせてしまっていると思いますが、迅速に対応してくれるので大変ありがたいです。

他科の医師とは救急や病棟等でお世話になっておりますが、皆優しく、快く対応してくださり、大変感謝しております。

矢尾 当院に赴任して以降、他科の先生方をはじめ、コメディカルの方々

が診療にとっても協力的なのが印象的でした。他科の先生方には特に救急外来で大変お世話になっております。

乳腺外科新設に伴い、当院に今までなかった検査方法や治療が加わりましたが、皆さん快く対応してくださっています。コメディカルの方々の勉強会なども行っており、これからも定期的に続けていきたいと思っています。

患者さんにとって 良いことを最優先に

―医師として患者さんとかかわる際に意識していることはありますか。

横井 「観察」です。症状、所見、表情、言動、心の動きなどを意識して診察しています。その意識が強すぎるのか、近年はほぼ無意識に相手の細かな変化を観察するようになりました。

また、特に不安や辛さを抱えていると予想される時は、ふとした時にする表情を見逃さないように気を付けています。相手の気持ちを理解



できて初めて、その方に合った、良い治療を選択、提供できると考えているからです。

矢尾 「患者さんにとって良いことは何か」を最優先に考え診療するよう心がけております。患者さんにとって意味のある検査なのか、治療なのか、疾患だけでなく、患者さんの人柄や背景も考慮することで「患者さんにとって良いこと」についてより良い判断ができるようにしています。また、乳腺外来ではほとんど

の患者さんが女性なので、触診、検査、処置などの際にプライバシーの保護には細心の注意を払っています。

早期発見のカギは

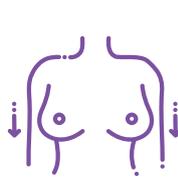
患者さん自身の自己触診

「乳がんの早期発見のために、私たちが日頃できることはありますか。」

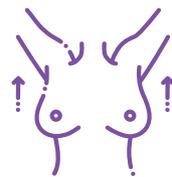
横井 月に1回の自己触診と、乳癌検診の受診です。どちらも大切ですが、

月に1回のセルフチェックで乳がんの早期発見

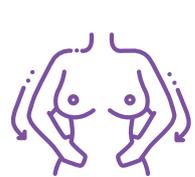
乳房の形を鏡でチェック



左右の比較



腕を上げて比較



腰に手を当て比較

用意する物もなく、簡単にできるのは自己触診です。鏡の前で左右の比較、腕を上げてみて比較、起きた状態と寝た状態で乳房全体を撫でるように触診するだけです。しこりを見つけたことより、触り慣れて、変化に気づけるようになれば早期発見につながります。難しいものと考えずに、まず触ってみてください。その中で何か心配なことや症状が現れた時には、気軽に当科へ受診してください。診断から治療まで一貫して、

乳房全体を触診



指で押して



上下左右に撫でて



渦巻き型に撫でて



触診の際には、指先でつまむのではなく、指の腹で軽く押すようにしましょう。

誠心誠意診させていただきます。
矢尾 まずは患者さん自身での乳房のセルフチェック(自己触診)、マンモグラフィ検診の受診をお願いしています。特に自己触診では、ご自身の「いつもと違う」という感触が大事だと思っており、自己触診を試みたら1cmほどのしこりを発見し、早期発見につながった方もいらっしゃいました。もちろんマンモグラフィ検診も同じくらい重要だと考えております。ので、この2点

については患者さんに必ずお願いしています。

乳腺のスペシャリストと 女性医師のサポート体制

―敦賀病院乳腺外科の強みについて
どう考えていらっしゃいますか。

横井 2人で診療にあたらせてもらっていますが、1人は女性であることが強みだと思います。乳腺外科領域は女性にとってはデリケートな部分ではありますので、男性医師の診察に対し敬遠される方もいると思います。症状や心配事があるのに気軽に受診できないというのは、その方にとってかなりのマイナスになる恐れがあるので、気兼ねなく受診してもらえたらと思います。

矢尾 乳腺専門医を取得されている横井先生と2人体制で診療していることです。乳腺専門医は外科専門医よりさらに専門性が高い資格であり、福井県内でも取得されている先生は10数名しかおりません。乳腺のスペシャリストと女性医師のサポート体制は女性の患者さんに

は大きな安心感を生むと考えます。

また、先ほど横井先生からもありましたが、乳腺外科の治療には手術だけでなく、化学療法や薬物治療、放射線治療なども必要となる場合があります。検査から外科的治療、内科的治療まで多岐にわたる手技や治療法のほとんどが当院で完結できることも同じく強みだと考えます。

―最後に、今後の抱負をお願いします。

横井 嶺南初の乳癌専門医を有する乳腺外科として、嶺北に行かなくても同等以上の安心を得られる診療ができたらと思います。果ては嶺南地区の方々の乳腺診療を一手に担いたいと思います。

矢尾 これまで嶺南地域ですべての乳腺治療を受けることは難しかったと思います。嶺北の病院で勤務していた際に、嶺南地域の患者さんの治療に携わることが何度もありました。このような世の中の状況だからこそ、自宅に近い場所で治療を完結できることは安心感にもつながると思います。多くの患者さんが敦賀で治療を受けたいと思っていただけるよう、日々精進しますのでよろしくお願ひします。





Kirameki Iryojin

きらめき 医療人

放射線室
主任診療放射線技師

山本 理佐

時に慎重に、時に俊敏に。

放射線科では、病気の早期発見や適確な病気診断のため、高性能な画像診断装置を用いて、体の各部位を撮影しています。CTやX線装置等の放射線機器を取り扱う業務であるため、患者さんへの安全配慮や職員の安全管理等、非常に慎重な業務が求められます。その中でマンモグラフィを担当している彼女は「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」という資格を所持しており、マンモグラフィでの良好な画像撮影において欠かせない存在となっています。乳がん検診(マンモグラフィ検査、乳腺エコー)は女性の診療放射線技師が活躍する場であり、彼女もその1人です。

また、放射線業務以外にも他職種のスタッフと協働し、患者満足度向上を目的としたチーム活動に積極的に取り組んでいます。

プライベートでは卓球部に所属しており、普段の慎重な業務態度からは想像もつかないほど俊敏な動きで相手を圧倒するという一面もあります。

彼女は乳がん検診のスペシャリストとして、時には慎重に、時には俊敏に業務に取り組んでいきます。



乳房撮影写真の確認



マンモグラフィ検査が実施される乳房撮影室



乳房撮影装置



月1回実施されている会議の様子



クリスマス時期の院内装飾の様子



2月から3月にかけて雑飾りを行っています

CS部会

コロナ禍でも

ご来院いただいた方々に

少しでも癒しの時間を

Customer
Satisfaction
Subcommittee

CS部会は、院内の多職種の職員で構成されるグループで「いかに当院を利用されている患者さんに満足していただくか」というテーマのもと、イベント企画を企画や患者さん向けのアンケート調査を実施しています。

例年、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者さん及び市民の方々に向けたイベントが実施できない中、来院いただいた患者さんや市民の方々向けに少しでも憩いの時間を過ごしていただくため、CS部会にて院内の装飾を実施しました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症は収束の気配を見せておりませんが、令和3年度も患者さんや地域の方々をはじめとした利用者のための活動を検討していきます。

新型コロナウイルス感染症

検査法を知ろう。

新型コロナウイルスの判明から、その感染の流行は現在も衰える気配はなく世界的に拡大しています。連日の報道を通じて、不安を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。

市立敦賀病では入院または通院中の患者さんへの感染伝播を防ぎ、地域の医療を担う機能を守り、さらには二州地域での新型コロナウイルス感染症の発生を防ぐため、対策に尽力しております。

今回は新型コロナウイルス感染症に関する検査方法についてご紹介いたします。

ウイルスを見つける検査とは

新型コロナウイルスを含め、ウイルスは非常に小さく実際に見ることができないため、様々な方法でウイルスを見つけるための検査をしています。

新型コロナウイルス感染症と検査

潜伏期間が平均5〜6日と長い新型コロナウイルス感染症においては、検査を行うタイミングが結果を大きく左右します。

ウイルスが増える前では遺伝子検査でも見つかりませんし、ウイルスが増えた後では抗原検査でも十分に見つけることが可能です。よって、陰性の結果が得られたとしても、明日には陽性となることも考えられますので、ご自身が「感染しているかもしれない」という気持ちを常に持ち、マスクの着用や手洗い、3密を避ける、などの感染対策を常日頃から実践してください。

最後に、当院では地域の医療を担う病院として、限られた資源の中で新型コロナウイルス感染症の診療を一般診療と並行して行っております。よって新型コロナウイルス

ウイルス感染症が疑われる患者さんや濃厚接触者の方を対象とした検査については現在実施しておりますが、陰性の確認などを目的とした検査はご対応いたしかねますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

検査目的	検査法	原理	特徴 <検査時間>
現在、感染しているかどうか	遺伝子検査	ウイルス遺伝子を検出	・見つける能力が高い ・高度な技術が必要 <約90分>
	抗原検査	ウイルス蛋白を検出	・遺伝子検査よりも見つける能力が低い ・検査が簡便 <約20分>
過去に感染したかどうか	抗体検査	血液中の抗体を検出	・性能が不明 ・検査キットにより異なる

編集集

世界で新型コロナウイルスの接種が始まる中、当院でも3月8日から感染リスクが高い医療従事者から優先してワクチンの先行接種が始まっております。海外の臨床研究ではワクチン接種者の感染率が約9割減少しているという結果もあり、効果を期待される方も多いかと思われれます。しかし、今すぐに行うことは、感染拡大防止策の基本である「3密を避ける」等の「新しい生活様式」です。私たちにできることを今後も継続してまいります。



さらめき 市立敦賀病院 広報誌

発行：市立敦賀病院 / 企画・編集：市立敦賀病院広報委員会
©2021 市立敦賀病院
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。



市立敦賀病院
公式ホームページ
<http://tsuruga-hp.jp>